

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科					
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数					
18012	1	前期	選択	1	15					
授業科目名 (英文)	認知科学 (Cognitive Science)									
担当教員名	佐川 賢									
授業の概要及び到達目標										
<p>認知科学は人間が物を見たり、聞いたり。話したり、記憶したり、推理したりするときどのようなメカニズム働いているかをとらえ、人間の「知」と「心」の仕組みを解明する学問である。認知という心の働きの理解を深め、人の行動の認知プロセスを学ぶ。人の行動には心が伴う。医療の場、看護の場、家の中での認知科学について例を示し、ともに考える。わかりやすさ、使いやすさを考え、人間行動の理解やなぜエラーが起きるのかなど考える。高齢者・障害者への配慮についても考える。</p> <p>以上の内容を認知科学のさまざまなトピックスを含めて、学んでいく。</p>										
準 備 学 習 等										
<p>本授業は 15 時間で 1 単位の授業である。各回の教室授業は、2 時間分の授業を行う。新聞、テレビなどのニュース、関連する書物、ウェブサイト、等に関心を持ち、特にヒューマンエラーなどについてその原因、なぜ事故になったかなどを調べておくこと。</p> <p>具体的には以下のことについて関心を持ち、関連する資料を調べておくこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知科学とは何か</li> <li>2. 人間の感覚情報（視覚、聴覚、触覚）のしくみ</li> <li>3. 人間の注意、記憶、学習などのしくみ</li> <li>4. 認知的デザイン、アフォーダンスとは何か</li> <li>5. ヒューマンエラーとは何か、その起きやすさ、防止策、など</li> <li>6. 高齢者・障害者配慮の製品、環境、サービスのデザイン手法（ユニバーサルデザイン、アクセシブルデザイン、インクルーシブデザイン、等）の概念と手法</li> </ol>										
成績評価の方法	<p>主として期末レポートで評価する。</p> <p>期末レポート 80 %、毎回授業後に提出する小レポート 20 %で総合評価する</p>									
テキスト	授業時プリントを配布する。									

参考図書	1) 基礎から学ぶ認知心理学 人間の認識の不思議 服部勇雅史, 小島治幸, 北神慎司 著 有斐閣ストゥディア 2) 医療におけるヒューマンエラー 河野龍太郎 著 医学書院
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスアワー 授業終了後教室で質問の時間を設ける</li> <li>・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</li> </ul>
授 業 計 画	
第1回： 認知科学の概要	認知科学とは何か、その考え方と領域
第2回： 視覚の情報処理（1）	視覚のしくみ、色と明るさ、色弱、等
第3回： 視覚の情報処理（2）	視力、視野 等
第4回： 聴覚、触覚の情報処理	聴覚、触覚のしくみと特徴
第5回： 認知過程の情報処理	注意・記憶・学習のしくみ
第6回： 認知的デザイン	使いやすいさ、アフォーダンス、等
第7回： ヒューマンエラー	ヒューマンエラーの起り方と防止
第8回： アクセシブルデザイン	高齢者・障害者のための配慮デザイン
<p>なお、授業の内容は、進捗度・理解度等により変更する場合もある。          授業は PowerPoint を使用したプレゼンテーションで進める。</p>	